

台風による浸水被害の救援のため 宮城県角田市に行ってきました



総合診療科長 齋藤 雅彦

大規模な自然災害の頻度が増している昨今ですが、10月12日から13日にかけて大型で非常に強い台風19号が東日本を直撃し各地に大きな爪痕を残しました。当院派遣のDMATとして業務調整員圃田主事、看護師吉川次長・清水師長、医師齋藤が15日の朝から2泊3日の活動を行いました。角田市総合保健福祉センターに配置され、ミッションは避難所と診療所のアセスメント、ならびに要支援者のリスト作成とフォローアップでした。

避難所については避難者数、ライフライン、衛生状態、医療介入を要する傷病者といった情報を光学文字認識対応のラピッドアセスメントシートに手書きで記載しました。この専用用紙をスマホで撮影してアプリで送信すると自動集計され、本部でのニーズ把握が効率的になるという仕組みでした。若く働ける住民は日中仕事に行くか、水の引いた自宅の清掃や片付けをして夜避難所に戻るため、日中避難所に残っているのは高齢者や障がい者でした。慢性疾患の増悪や処方切れのこと、社会福祉関係者とのコネクションが保たれていることの確認を行い、リストに支援継続の要否を記入して市の保健師へ引き継ぎます。順調に支援ニーズが縮小していくのを見届けて現地を後にしました。

このように刻々と変化する被災地のニーズ把握やデータ集計の効率化のための仕組みは、大規模災害が発生する度に着実に進化しているようです。DMATの業務は被災傷病者への診療行為が注目されがちではありますが、その機動性と迅速性を活かし、マンパワーが絶対的に不足し混乱する災害発生後早期に参集して被災地の保健行政をサポートすることも必要であると理解しました。



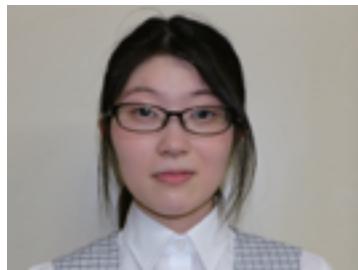
2泊3日の活動を終え帰院したDMAT
左から、齋藤医師、吉川看護部次長、
清水看護師、圃田主事

簡単ではありますが台風19号にかかる出動のご報告をさせていただきました。派遣準備から、不在中の院内業務、院外診療応援、帰還後の整理までチームを支えていただきました多くの関係者の皆様に深く御礼申し上げます。



市民向け健康講座について

当院ではより良い医療の情報発信と、患者さんへのサービス向上の一環として、平成20年より市民健康講座を開催してきました。開催ペースは2、3か月に1回程度であり、これまでに65回行っています。



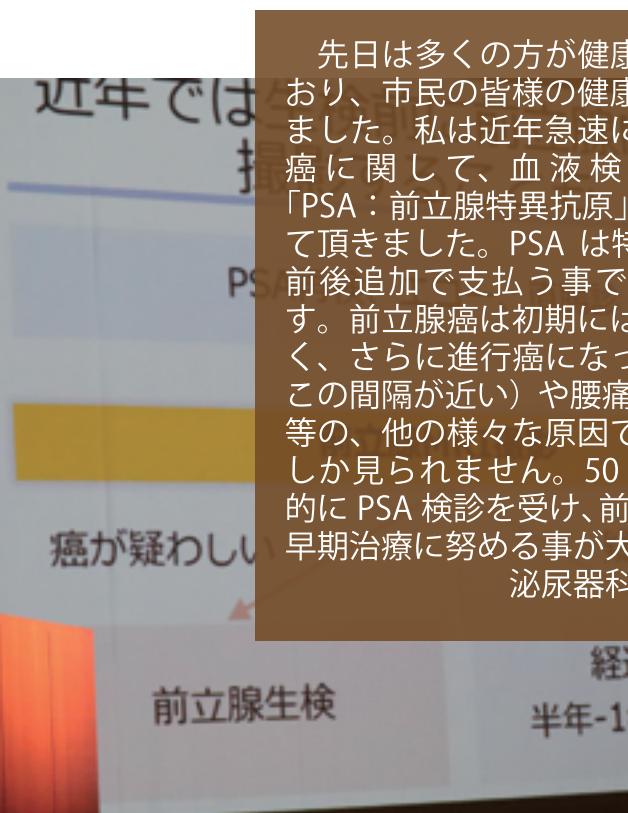
業務企画室 主事 日當 光紀

市民向け健康講座では、盛岡市中ノ橋通にあるプラザおでってを会場とし、当院の地域医療支援部長が担当科を決め、その担当科内でテーマを定めて、病気がどういうものなのかの解説や、治療方法、予防方法などについてを紹介しています。テーマは毎回異なるもの（認知症、不整脈やひざの痛みなど）ですので、皆さん気がなる回を見つけることがあります。

講師は当院の職員（医師をはじめ、認定看護師・薬剤師・臨床検査技師・管理栄養士・診療放射線技師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・視能訓練士など）がさまざまな視点から、患者さんが普段では知ることの難しい内容であったり、日常生活でも役に立つような内容を講演しております。

また、会場準備ではボランティアの方々の力もお借りしてホールが作られています。次回の第66回健康講座は2月29日（土）、「放射線による診断と治療（仮）」というテーマで開催予定ですので、気になる方は是非、足をお運びください。

11月2日の健康講座 「人間ドック・健康診断で見つかる！泌尿器疾患」より



先日は多くの方が健康講座に参加されており、市民の皆様の健康意識の高さを感じました。私は近年急速に増えている前立腺癌に関して、血液検査で調べられる「PSA：前立腺特異抗原」について講演させて頂きました。PSAは特定検診で2000円前後追加で支払うことで調べる事が出来ます。前立腺癌は初期にはほとんど症状が無く、さらに進行癌になってしまっても頻尿（おしっこの間隔が近い）や腰痛（骨の転移による）等の、他の様々な原因でも起こり得る症状しか見られません。50歳を超えたら積極的にPSA検診を受け、前立腺癌の早期発見、早期治療に努める事が大切です。

泌尿器科医長 阿部 正和

12月19日、クリスマスコンサートを1階待合ホールにて開催しました。

毎年恒例となっている本コンサート。最初に登場したのはあゆみ保育所の子どもたち。

元気よく「あわてんぼうのサンタクロース」「ウィンターワンダーランド」の2曲を歌ってくれました。歌った後はサプライズで2人のサンタが登場。会場の子どもたちにプレゼントを渡しました。

次に、当院のボランティアひまわりと看護職員による、ハンドベル演奏による「ジングルベル」や高橋外来師長のオカリナ演奏「見上げてごらん夜の星を」、そして看護師長会が披露した「雪」の合唱はどれも会場の皆さんのが楽しくなるような演目で、会場は暖かい雰囲気でした。

続いて、2年次研修医村上先生を中心とした、職員有志による美しい演奏。「J-POP クリスマスマドラー」「さくら」の2曲はとても美しい演奏で、その音色に会場全体が包まれました。

最後に登場したのは、上田中学校の生徒さんたち。今年で約20年目の参加ということで「AmazigGrace」「パプリカ」「やさしいあの子」の3曲を披露してくれました。「パプリカ」で会場と一緒に振り付けと一緒に踊って会場は賑わいました。合唱でも素晴らしい歌声を披露し、会場を沸かせました。

総務課総務係 八巻紘輝



編 集 後 記



島岡 理
広報委員長（小児外科長）

開けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。今年の干支「ねずみ」は昔話にもよく登場し、吉凶の前兆を知らせまた神様や人々を助けてくれる靈的な動物として親しまれてきました。子（ね）は種子の中に新しい生命がきざし始める状態から「増える」を意味し、植物が子孫を増やそうと成長し始める種子の状態を表すと言われています。神また、様が十二支の動物を決める際に一番最初に門前にたどり着いた牛の上に乗っていたネズミが飛び降りて1番になった事から干支の一番になったとも言われている様ですね。話は変わりますが、年末から武漢コロナウィルスが猛烈に拡散されています。不都合な情報の隠蔽など初動に問題がありそうですが、ウィルス拡散を防ぐ方策を早急に国主導で作成し、収束の兆しが見えてくるよう、また子年にあやかって

今年が平安で実り多いよき年となりますよう願っています。



おしらせ

次の健康講座は・・・

放射線をつかった
診断と治療

令和2年2月29日(土)
14:00～16:30

プラザおでってで開催します。
入場無料・事前登録不要です。
多くの方々のご参加をお待ち
しています。



岩手県立中央病院
〒020-0066 岩手県盛岡市上田1-4-1
TEL:019-653-1151 FAX:019-653-2528
<http://www.chuo-hp.jp>

ふれあい No.287 令和2年1月
岩手県立中央病院 広報委員会
◆委員長 島岡 理
相馬 淳 吉城 田 直人
吉川 寛 和 大輔 佐々木 貴美子
高橋 大由 美 坪 井 ふみ子
埜中 由喜 藤 佐野 絵ひろ
高江柄 万喜 岩 渥 桜子
藤原 由樹 日 岩 菅野 冬子
日當 光 紀 吉 野 奈穂子

ふれあいはホームページでもご覧頂けます。

岩手県立中央病院

検索